

# 平成16年度9月補正予算案について

9月補正では、歳入歳出予算補正として、  
 社会福祉施設等の整備にかかる国庫補助協議基準見直しへの対応  
 東京芸術大学大学院映像研究科開設に伴い、大学に貸与する映像文化施設  
 (旧富士銀行等)の整備等 の補正を行います。

## 【歳入歳出予算補正】

一般会計 10事業 983百万円

## 【その他の補正】

債務負担行為の補正（一般会計：予算外義務負担の追加） 1件

## 1. 歳入歳出予算補正

### (1) 補正の内容

#### 社会福祉施設等の整備にかかる国庫補助協議基準見直しへの対応

514百万円

国の社会福祉施設等整備にかかる国庫補助協議基準の見直しにより、国庫補助金の削減(協議額の上限定)や協議対象とする事業進捗率の設定等が行われたため、関係施設について進捗率の調整や国庫補助認証額にあわせた補正を行います。

#### 社会福祉施設等整備にかかる国庫補助協議基準の見直しの概要

[特別養護老人ホーム・地域ケアプラザ・痴呆性高齢者グループホーム]

##### 16年度新規事業について

- ・協議限度額の設定[15年度新規事業にかかる補助額の約2/3に圧縮]
- ・初年度進捗率による対象施設の制限

[17年度への継続事業の16年度進捗率が50%未満となる施設は協議対象外]

[介護老人保健施設]

- ・事業進捗率による対象施設の制限

[16年度新規事業の17年度への継続事業は協議対象外(単年度整備のみ対象)]

- ・補助制度の変更[大都市加算、ユニットケア加算の廃止]

[障害児者施設]

- ・協議対象施設の制限[障害児者入所施設の新設、増築等の整備は協議対象外]

特別養護老人ホーム等整備事業 (新規11施設について、事業進捗の変更[9施設]及び認証減等に伴う補正)	525百万円
介護老人保健施設整備事業 (新規6施設について、国庫補助基準の見直しに伴い国庫補助額を減額)	64百万円
痴呆性高齢者グループホーム整備事業 (新規4施設について、認証減に伴い国庫補助額を減額)	72百万円
地域ケアプラザ整備事業 (新規2施設の事業進捗の変更等に伴う補正)	115百万円
母子生活支援施設整備事業 (合築となる睦地域ケアプラザの事業進捗の変更に伴う減額)	36百万円
コミュニティハウス整備事業 (合築となる鶴見市場地域ケアプラザの事業進捗の変更に伴う増額)	46百万円
障害者施設整備事業(国庫補助協議基準の見直しに伴う新規3施設の財源更正)	

**東京芸術大学大学院映像研究科開設に伴い、  
大学に貸与する映像文化施設(旧富士銀行等)の整備等 469百万円**

17年4月に横浜市へ大学院映像研究科を開設する国立大学法人東京芸術大学が、本市が整備する映像文化施設を利用するため、旧富士銀行等の改修に要する経費等を補正します。

旧富士銀行等改修事業	374百万円
・旧富士銀行の改修（実施設計・工事、工事）	
・新港客船ターミナルの改修（実施設計、工事）	
都心部歴史的建築物等活用実験事業	85百万円
・活用実験事業の日本郵船倉庫への移転に要する経費	
市民活動協働事業	10百万円
・市民活動共同オフィスのクリーンセンタービル内への整備に要する経費	

**東京芸術大学大学院映像研究科の設置概要**

概要：文学・演劇・音楽・建築・映像技術等を統合する総合芸術である映画芸術分野を中心とし、高度な映画、映像制作者の人材育成教育を行う。  
映像研究科の下に、映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻の3つの専攻を置く。

スケジュール：16年5月 東京芸術大学大学院映像研究科の設置を公表。  
6月 文部科学省に大学院映像研究科の設置認可を申請。  
17年4月 映画専攻開設(予定)。  
18年4月 メディア映像専攻開設(予定)。  
19年4月 アニメーション専攻開設(予定)。

施設：旧富士銀行横浜支店及び新港客船ターミナルを映像文化施設として改修し、大学が当面利用する施設として、無償貸与。

**(2) 9月補正における一般財源について**

一般会計の歳入歳出予算補正により、一般財源が1,339百万円必要となりますが、この財源については、15年度決算での繰越金(15年度実質収支3,830百万円の1/2)の一部により対応することとし、歳入予算額の補正を行います。

	当初予算額	収入見込額	差引 (活用可能額) = -	9月補正での 活用額	差引 (9月補正後活用可能額) = -
繰越金	0	1,915	1,915	1,339	576

**2. 債務負担行為の補正(一般会計)**

東京芸術大学大学院映像研究科の17年4月開設に向け、東京芸術大学が利用する本市映像文化施設を整備するため、旧富士銀行の改修工事を行うことに伴い、予算外義務負担を設定します。

事 項	期 間	限度額
旧富士銀行改修工事請負契約の締結に係る予算外義務負担	平成17年度	160,000千円

平成16年度9月補正予算案の内容(歳入歳出予算)

参考資料

一般会計歳入歳出補正

(単位：百万円)

局名	事業名	補正額	財 源				
			国	県	その他	市債	一般財源
市民協働本部	市民活動協働事業	10			1		11
文化芸術本部	旧富士銀行等改修事業	374					374
文化芸術本部	都心部歴史的建築物等活用実験事業	85					85
市民	コミュニティハウス整備事業	46					46
福祉	地域ケアプラザ整備事業	115	11				104
福祉	母子生活支援施設整備事業	36	21				15
福祉	特別養護老人ホーム等整備事業	525	96				621
福祉	介護老人保健施設整備事業	64	64				0
福祉	痴呆性高齢者グループホーム整備事業	72	72				0
福祉	障害者施設整備事業	0	113				113
一般会計 合計		983	355	0	1	0	1,339

平成16年度歳入・歳出補正予算の概要(9月補正)

参考資料

【一般会計】

(単位：百万円)

	15年度			16年度			伸び率	
	当初	9月現計	最終現計	補正前	今回補正	9月現計	/	/
歳出総額	1,301,421	1,307,086	1,333,314	1,294,677	983	1,295,660	0.9%	2.8%
人件費	218,809	218,791	211,989	210,225	0	210,225	3.9%	0.8%
扶助費	199,901	200,111	209,640	217,811	0	217,811	8.8%	3.9%
行政運営費	222,583	225,718	227,383	222,809	10	222,819	1.3%	2.0%
施設等整備費	270,744	273,257	280,108	252,133	973	253,106	7.4%	9.6%
単独事業	157,847	158,182	162,302	143,403	1,460	144,863	8.4%	10.7%
補助事業	112,897	115,075	117,806	108,730	487	108,243	5.9%	8.1%
公債費	172,945	172,945	180,743	171,213	0	171,213	1.0%	5.3%
繰出金	216,439	216,264	223,451	220,486	0	220,486	2.0%	1.3%
特定財源	344,714	349,154	359,369	341,025	356	340,669	2.4%	5.2%
国庫支出金	150,591	152,086	161,088	159,570	355	159,215	4.7%	1.2%
県支出金	19,512	21,487	22,700	21,514	0	21,514	0.1%	5.2%
その他	174,611	175,581	175,581	159,941	1	159,940	8.9%	8.9%
市債	154,385	154,130	156,677	145,645	0	145,645	5.5%	7.0%
一般財源	802,322	803,802	817,268	808,007	1,339	809,346	0.7%	1.0%
うち市税	649,844	649,053	651,745	644,722	0	644,722	0.7%	1.1%
【特別会計】	1,411,838	1,425,734	1,428,737	1,488,250	0	1,488,250	4.4%	4.2%
【企業会計】	682,777	683,251	681,529	673,410	0	673,410	1.4%	1.2%